

ひのっこだより

日野町内の幼稚園や小・中学校での子どもたちの様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。



西大路幼稚園

【園教育目標】

豊かな心をもち 生き生きと生活する幼児の育成

- ☆**に**こにこ 明るく元気に遊び、人に優しく思いやりのある子ども
- ☆**し**っかり 人の話に耳を傾け、あいさつ・返事がしっかりできる子ども
規則正しい生活リズムで心身共に健康で、しっかり課題に取り組む子ども
- ☆**お**おきな **し**ん 自分で考えて、最後まで頑張る事ができる子ども
自分のことが大好きで、様々な形で思いを表現できる子ども

小規模だからできることを大切にしています。
『異年齢児・他園・小学校・地域との交流活動』
『子ども達の心に響く身になる体験』
『一人ひとりのよさを生かした成長の推進』



クリスマス冒険の森にて



西大路幼稚園ならではのダイナミックな雪あそび!

心通い合う人とのかわり



だいすき!

4・5歳児での異年齢交流や小学生との交流、また他園児との交流や地域の方との交流の中で、自分の思いや考えと違うものに触れたり、自己肯定感を高めたり、相手の気持ちに気付き相手の立場で物事を考えたりして、人とのコミュニケーションのとり方を経験を通して学んでいます。

心に響く体験の積み重ね



かんじるよ!

子ども達が体験する中で感じ、知り得たことが就学後の学習につながります。幼児期に多くの心に響く体験を積み重ね、教科書に書かれていることと幼稚園での体験を絡み合わせ、理解を深めていきます。

遊びや活動を通しての総合的な学び



わかった!



できたよ!

子ども達の生活や遊びはつながり、一つひとつの経験が様々な場面で生きてきます。一人ひとりの得意な部分や苦手な部分をしっかり見極め、適切な援助に努めることで、子ども達の心と体の成長につなげていきたいと考えています。今年度の園児数は、4歳児16名、5歳児14名、計30名です。日野小学校区からも、各学年4名ずつ就園されています。区域外の方もぜひ一度、保育見学にお越し下さい。お待ちしております。

園児みんなで15人仲良し

南比都佐幼稚園



【園教育目標】

遊びいっぱい・笑顔いっぱい 学びいっぱい!

春は黄色いたんぼぼの花が野道に一面に咲きます。夏になるとザリガニやドジョウや蛙がたくさん出てきます。秋には山の木々が色づきどんぐりや栗を拾う事が出来ます。冬にはたんぼや小学校の校庭に張った氷を滑って遊んでいます。近くの山や丘に登ったり、溝で生き物つかみをしたり自然の中で思う存分遊ぶことが出来るのが南比都佐幼稚園の一番自慢できるところです。

また、園児数が少ないので巧技台や遊具がたくさん使えるのも楽しいです。小学校の運動場と園舎が続いているのでいつもお兄さんやお姉さんと一緒に遊んでもらっています。楽しい楽しい幼稚園です。

～豊かな自然と少人数を生かして～



近くの山や丘にみんなでお出かけ。たくさん歩いて一杯いい空気を吸って、大きな声でおしゃべりして満足的时间です。ザリガニ、ドジョウ、メダカなどたくさん捕まえて飼っています。

～地域の温かさに支えられて～



地域の方の山やたんぼに入れていただき、思う存分遊ばせてもらっています。休み時間には小学校の人が遊びに来てくれます。優しく遊んでくれています。

◆問い合わせ先 教育委員会 学校教育課 ☎6564



学校給食



▲地元農家との給食会

新鮮で安心・安全な 地場産食材を子ども達に

食の大切さと生産者への感謝の気持ちを育む学校給食



学校給食では、地元農家や業者と連携し、「新鮮で安心・安全」な地場産食材の活用を積極的に行っています。

地元農家で生産された農産物などを積極的に活用することで、子ども達と生産者との距離が近くなり、「お互いの顔が見え、話ができる」関係ができています。地元農家の皆さんをお招きしての給食会では、自分たちが食べる給食の食材が、身近な地域で生産され

ることのお話を伺い、地域の農業に関心を持ったり、生産者への感謝の気持ちを育むなどの教育的効果が生まれています。

また、産地から消費するまでの距離が近いことで、輸送コストが減り、鮮度を保てることや、地場産農産物の商品力の向上と、地元農業等の振興にも結びついています。

野菜では、主にじゃがいも、たまねぎ、小松菜、ほうれん草などを活用しています。

より活用度を上げるため、規格外のキャベツをメンチカツ用に加工をしたり、カット野菜として活用するなどの検討も進めています。

なかでも、「鹿肉のから揚げ」や「鹿肉カレー」のメニューの日は、子ども達はいつも以上に給食に興味をもつ姿が見られます。

今後も地場産農産物の活用度を上げる取り組みを進めるために、地元農家のみなさんや業者のみなさんとの連携を強化していきます。

成長期の心と身体をつくる食育推進



▲小学生の収穫体験

中学校では、平成25年度から学校給食を開始し、家庭科の授業を中心に、成長期の心と身体をつくる食育を推進しています。平成26年度には、滋賀県の「湖っ子食育大賞」で、『優秀賞』を受賞しました。

この取り組みでは、地場産の食材にこだわって学習をすすめることを目的に、JAGグリーン近江の地域普及員さんから、伝統野菜の日野菜の歴史や、漬物づくりの指導を受けました。その一方で、家庭では生徒が学習(体験)したことを再現(家でも作ってみる)してもらえるよう呼びかけ、多くの生徒が家庭で実践し、味の違いやそれぞれの家庭にそれぞれの味(家庭の味)

があることを実感できました。

今年度は、昨年度の成果を受け、健康推進員さんから健やかな身体を育むための塩分摂取についてのお話をいただいたき、さらに「食」の学びを深めました。

今後もこのような、家庭・地域・学校がつながる取り組みを大切に、成長期の栄養と献立、調理や食文化などに関する授業を展開し、「食」の大切さと生産者への感謝の気持ちを育む食育を進めていきたいと考えています。

◆問い合わせ先

教育委員会 学校教育課
☎05655664